

清流 4月

	世帯数	前月比	人口	前月比
浜松市	357,998	114	782,684	-447
天竜区	11,752	9	24,710	-53
下阿多古	1,264	-1	2,379	-6

詳細は 浜松市統計 検索

発行: 浜松市下阿多古ふれあいセンター 編集協力: 下阿多古ふれあいセンター活動推進委員会
〒431-3427 浜松市天竜区上野172番地の3 TEL 053-926-3141

令和7年度の役員をご紹介します。

令和7年4月1日現在
(敬称略)

下阿多古地区自治会

◇連合自治会長

松井 久尚(緑恵台)

◇連合自治会副会長

野澤 利治(上野)

富部 泰幸(米沢)

◎...会長

○...副会長

【石 神】◎中根 多加夫

○森本 勝彦

【上 野】◎野澤 利治

○梅林 若美

【両 島】◎大石 俊史

○鈴木 基弘

【青 谷】◎梅林 正行

○鈴木 祐介

【渡ヶ島】◎佐口 達也

○橋本 諭

【請 留】◎杉山 雅俊

○高井 勉

【米 沢】◎富部 泰幸

○鈴木 全伯

【緑恵台】◎松井 久尚

○森 喜久雄

○安藤 学

○二橋 忍

浜松市消防団天竜支団

天竜方面隊 天竜第8分団

◇分団長 橋本 智彦

◇副分団長 佐口 健之

浜松市スポーツ協会天竜支部

下阿多古体育振興会

◇会長 吉林 彦好(上野)

◇副会長 梅林 正行(青谷)

よろしくお願いいたします。



募集

あなたの知識を生かして

生涯学習講座を開いてみよう！

あなたの知識や技術等を地域や周りの人に伝える機会を提供し、
学びの成果を継続して生かす事業です。

地域の課題解決のために生涯学習講座を企画・運営してみませんか？

地域の伝統を
子どもに伝えたい世代間交流のできる
講座を企画・運営
したい上手な読み聞かせを
学ぶために講座を
企画・運営したい

《申込期間》2025(R7)年4月15日(火)～5月21日(水)

《応募方法》「学習成果活用事業申請書」、「事業提案書兼申込書」に記入し、実施を希望する
ふれあいセンター等の窓口へ提出してください。提出時に、必要経費等について
職員が伺います。※学習成果活用事業申請書及び事業提案書兼申込書は、市ホームページから
ダウンロードするか、ふれあいセンター等の窓口でお受け取り下さい。

「あいさつお絵かき」作品展

清竜中学校区青少年健全育成会では、お絵かきを通じて、下阿多古幼稚園児にも「あいさつ」について関心をもってもらうため、「あいさつお絵かき」を募集しました。

きずな館ホール入口に展示中です。
下阿多古幼稚園のみなさんの作品を是非ご覧ください！

4月10日(木)は
交通事故死ゼロを目指す日

◆春の全国交通安全運動が4月6日(日)から4月15日(火)までの10日間実施されます

◆交通安全運動の重点

- ①こどもを始めとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- ②歩行者優先意識の徹底と「ながら運転」等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- ③自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底

下阿多古むかしばなし ③
底なし池の弁天様 西山(上野)

むかし、上野の西山に水を満々とたたえる大きな底なし池があり、弁天様がまつられていました。その弁天様にはお供の大蛇がおり、その大蛇は春の彼岸に諏訪湖へ水を飲みに行くため、大蛇が留守の間は片目の青い魚と大きな亀が代わりに弁天様のお供をしていました。ところが、村人の五郎七は彼岸にその片目の青い魚を釣り、焼いて食べてしまいました。2日後には五郎七が底なし池に浮かんでいるのが見つかり、その後も相次いで何人もの村人がこの池で命を落としました。村人たちは

ひよこ学級 学級生大募集



ひよこ学級は、ふれあいセンターで行っている家庭教育学級のひとつです。未就園児(おおむね0歳から3歳)と保護者が対象です。

同じ年代の子供とその保護者が交流できる機会を設け、年中行事や物づくりを通じて情報交換をすることで、お互いの子育てに役立てることを目的としています。

活動などに興味のある方は、下阿多古ふれあいセンター(☎926-3141)までご連絡をお願いいたします。



七夕まつり



クリスマス会

【活動内容】遠足、七夕まつり、クリスマス会など
年10回程度活動しています。

天竜ふれあいバス(阿多古線)募金
一ご協力ありがとうございました！

2月15日開催の下阿多古ふれあいセンターまつりで行われた募金活動では、25,844円のご寄付をいただくことができました。
いただきました寄付金は、天竜ふれあいバスの運行費用に使用させていただきます。これからもご支援よろしくをお願いいたします。

は「弁天様のたたりじゃ」と恐れ、彼岸に池で魚を捕ることを禁じ、おまつりをするようになり、それからは池で亡くなる者はいなくなりました。

月日が流れ、底なし池は無くなってしまいましたが、弁天様の祠は今でもおまつりされています。



令和7年3月9日撮影

参考:『下阿多古の昔話』
『ふるさとのがたり天竜』

【職員異動のお知らせ】

ふれあいセンター所長が代わりました。

◆お世話になりました

内山 正実

(天竜区まちづくり推進課へ)

◆よろしくお願いします

増田 健一

(竜川ふれあいセンターより)



心にちよきオルゴールの音流れ来て
坪井 良子

春めきて戸惑う寒波の冷え込みに
好みのマフラー巻いて出掛ける
松本 和子

雪国の報道に観るたび心が痛む
計り知れない雪の重さに
小林 勝子

「おめでとう」その一言が嬉しいと
孫は合格涙ぐみつつ
二橋 かほる

草も木も命あるもの待つ雨に
庭の池より初蛙の声
水野 哥那子

清流歌壇

